



「芳洲国際通り」は、雨森芳洲の生誕地に東アジア交流ハウスに通じる町道の整備を行ったもので、カラー舗装の歩道沿いにはコイの泳ぐ池や花時計、りんご並木などが設けられている。韓国の国花ムクゲや雨森家の家紋にもなっているタチバナを植栽したほか、沿道には五カ国語の案内板を設置している。

また、地域の人々やボランティアグループが草花の手入れや植樹を行うなど、美しい道づくり活動を展開しており、散策やジョギング道路、安全な通学路として親しまれている。

江戸時代の儒学者・雨森芳洲は、当時の朝鮮との外交に尽くした国際人で、先年訪日した韓国の大統領が宮中晩餐会で賞賛したことから、その名が広く知られるようになった。

DATA・BOARD 46

- ① 滋賀県伊香郡高月町雨森
- ② 延長：545m、幅員：11.5m
- ③ 遊歩道、花時計、池、りんご並木、花壇、案内板
- ④ セラミックカラー舗装材、石材、植栽ほか

